

報道関係者各位

最新のIT/インターネット技術に触れる
『オープンソースカンファレンス2012 kansai@kyoto』

日時：平成24年8月3日（金）～8月4日（土）
場所：京都リサーチパーク アトリウム・1号館4階（JR丹波口 徒歩5分）
参加費：無料、予約不要
主催：オープンソースカンファレンス実行委員会
（代表 京都ノートルダム女子大学 教授 吉田智子）
協力：京都リサーチパーク（株） 企画運営：（株）びぎねっと
公式サイト：<http://www.ospn.jp/osc2012-kyoto/>

オープンソースカンファレンス（Open Source Conference; OSC）は、全国各地で月1度の頻度で開かれている、IT技術の開発者や企業が一堂に会する見本市です。オープンソースの技術は、GoogleやFacebook、「はてな」など、数あるインターネット企業を支える基盤としてだけでなく、広くインターネットを支える基盤としても使われています。さらに、iPhoneやAndroidなどのスマートフォンの中にも組み込まれ、現在のデジタルテクノロジーには、なくてはならない技術となっています。

京都でのOSC開催は、今年で6回目となります。約70の企業・団体による展示のほかに、65以上、提供されるセミナーセッションでは、Webサービスなどのインフラ技術から学生やコミュニティの発表まで、幅広いテーマの技術セミナーが、無料で受けられます。昨年^の京都会場では、2日間でのべ1200人以上にご来場いただきました。今年度は、京都リサーチパーク（株）が7月28日から8月5日まで開催する、KRP-WEEK (<http://www.krp.co.jp/krpweek/>) 期間中の開催となるため、より多くの来場者が予想されます。

今回の京都での開催を主催している「オープンソースカンファレンス実行委員会」は、全国で開催されているOSCの現地実行委員スタッフ（ボランティアベース）の会です。学生の街、京都ではスタッフとして多くの学生が活躍している点が、他の地域でのOSCとの大きな違いです。セミナーの「80分でゲームを作ろう！～Scratchでおてがるプログラミング入門～」は、小中学生にプログラミングの楽しさを伝える活動をおこなっている京都の高校生がおこなっていますし、展示ブース・ツアーのリーダーも京都の大学生が担当します。

また、今回のOSCでは昨年までとは違い、オープンソースを知りたい方（京都の産業界の方、一般の学生の方など）へのサポートに、非常に力を入れています。具体的には、「オープンソース入門塾（イベント・コンシェルジュ）」のコーナーを設けます。オープンソース入門者と推進者という、異文化、異業種の方々の交流の中から、京都地域を中心とした産業界の活性化を図る予定です。たとえば、オープンソースを利用した「お手軽サーバ監視システム、もにったー」を使えば、中小企業向けのtwitter連動型サーバ監視システムが構築できます。また、行政に向けては、長崎県庁や徳島県庁でのオープンソース導入事例などの発表もあります。京都の企業、行政まで幅広くオープンソース技術を伝え、各分野での導入を推進する窓口を提供できればと考えています。

つきましては、ぜひ報道でお取り扱いいただきたく、当日の取材等ご検討いただけましたら幸いです。

（お問い合わせ先）

オープンソースカンファレンス実行委員会 代表
京都ノートルダム女子大学 人間文化学科 教授 吉田智子
TEL:075-706-1709(研究室直通) E-mail:tyoshida@notredame.ac.jp
お問い合わせ：<https://www.ospn.jp/osc2012-kyoto/modules/contact/>